

# 久慈農業改良普及センターだより



普及センター情報 222号

平成22年6月24日発行

久慈農業改良普及センター

TEL: 0194-53-4989 FAX: 0194-53-5009

普及センターホームページは検索画面で..

久慈農業改良普及センター 公式

検索

## ○これは楽そうだ！ロングマット苗で育苗・田植えを省力化○

～水稲ロングマット苗の育苗管理に関する研修会を行いました～

久慈地方低コスト水田営農研究会は、水稲省力・低コスト栽培技術の現地実証事業の一環として、ロングマット苗の育苗に関する研修会を6月9日に開催しました。

研修会には、研究会員の農家や関係者ら約20人が参加し、省力・コスト低減効果や、育苗に必要な資材、管理作業、導入にあたっての費用などについて学びました。

また、播種作業と移植前の苗の巻き取り作業の実演も行われ、参加者はロングマット育苗の省力・コスト低減効果を実感した様子で、必要な資材や育苗管理技術の詳細について多くの質問が出されました。



苗の巻き取り作業の実演

ロングマット苗栽培の導入には、新たな育苗資材や田植機用部品の購入のための費用が必要です。参加者からは、「複数の農家が共同で導入すれば、費用負担が軽減され、利用効率も上がるだろう」との意見も出され、技術普及の可能性が大いに感じられる研修会となりました。

## ○魅力いっぱいの産直を目指して○

久慈地域産直連絡協議会は管内15の産直施設の代表者で構成され、産直が連携し情報交換や技術研鑽を図り、各々の産直を取り巻く課題を解決していくことを目的として昨年度設立されました。今回、協議会の取り組みの一環として、6月9日に産直活動先進事例研修会を行いました。

視察先の母ちゃんハウスだあすこ(花巻市)では店内の商品配置や売場の工夫、品揃えなどを視察しました。また、サン・フレッシュ都南(盛岡市)では店内視察に加え、販売額向上に向けた取組みについてJAシンセラ佐々木常務からお話を伺いました。「挨拶、掃除、商品鮮度のチェック、この3つで良い店になる」、「豊富な品揃え(旬のもの、地域的特徴)と徹底した商品管理」、「消費者目線からの品目別陳列」など、消費者の利便性向上と魅力ある店舗作りについて様々なポイントを教えていただきました。



熱心に説明を聞く参加者

普及センターでは、こうした研修の成果を魅力いっぱいの産直経営に繋げていけるように支援をしていきます。

普及センターでは、こうした研修の成果を魅力いっぱいの産直経営に繋げていけるように支援をしていきます。

# ○「山ぶどう」について「ゆるーく」つぶやき中！○

～「山ぶどうツイッター」始めました～

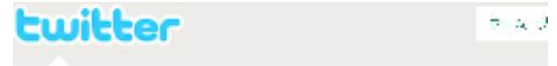
話題の「ツイッター」、利用してみましたか？久慈地方振興局農政部、久慈農業改良普及センターでは、山ぶどうの更なるPRに向けて、4月から積極的に活用しています。

「ツイッター」は、インターネットを利用した情報発信手段の一つで、利用者が140文字以内の「ツイート（つぶやき）」を投稿することができる一種の「掲示板」です。投稿した「ツイート（つぶやき）」は誰でも閲覧可能です。また「TwitPic（ツイットピク）」等の写真投稿サービスと連携して、写真で視覚的に情報提供することも可能です。

これまでは、発芽から開花までの生育中心の情報提供を行ってきましたが、非常に好評で「フォロワー（読者）」は約700名になりました。

今後は様々なイベント等の耳より情報も提供していくことにしております。皆様もフォロワー（読者）になって、山ぶどうのファンになって頂ければ幸いです。

URLは右のとおりです。→[http://twitter.com/yamabudo\\_kuji](http://twitter.com/yamabudo_kuji)



yamabudo\_kuji

【6月21日：野田村】山ぶどうの雌花がほぼ開花終了。雄花はまだ開花中。雌花より先に咲き、散った後まで花を咲かせている雄花に、哀愁を感じます  
<http://twitpic.com/1z50z3>  
<http://twitpic.com/1z50zi>



【6月19日：野田村】山ぶどうの雄花が咲き始めました。雌花はまだ開花中。雄花は雌花より先に咲き、散った後まで花を咲かせている雄花に、哀愁を感じます  
<http://twitpic.com/1z4dy> <http://twitpic.com/1z4dy>

【6月19日：野田村】山ぶどうの雌花が咲き始めました。雄花はまだ開花中。雌花は雄花より先に咲き、散った後まで花を咲かせている雄花に、哀愁を感じます  
<http://twitpic.com/1z4y9>

ツイッター画面

※写真で視覚的に情報提供

## ○ 普及センター活動情報 ○

～「県北圏域園芸産地力強化対策事業」の紹介～

### 1 目的

久慈地域では、県内トップの雨よけほうれんそう産地が形成されています。しかし、長年にわたり連作を続けてきたことによる土壌病害の発生や養分バランスの崩れ等で、生産量が思うように上がらないハウスも見受けられます。

そこで、県予算である地域振興推進費を活用し、以下の実証圃を設置しながら生産阻害要因を克服することで産地力の強化を図るとともに、市場への有利販売や契約販売の拡大に結びつける取り組みを展開中です。

### 2 事業実施主体

久慈地方農業農村活性化推進協議会農産園芸部会（事業受託）

### 3 主な事業内容

#### 実証圃の設置

実証内容	実証場所
① 萎ちょう病多発対策 ・各種資材（土壌pH改善、粉炭等）での萎ちょう病対策	久慈市侍浜町 2戸
② 連作による土壌過肥沃（塩類集積）対策 ・多量かん水法による除塩対策 ・輪作品目栽培による吸肥効果	洋野町大野地区 2戸 久慈市小久慈町 1戸
③ 適切なかん水技術の確立 ・ハウス内に土壌水分センサーを設置し適正水分量の把握	久慈市侍浜町 1戸 洋野町大野 2戸
④ 経営補完品目栽培実証 ・葉ネギ ・プチベール（芽キャベツ×ケールの交配種）	久慈市大川目町、侍浜町、 洋野町大野 各1戸 久慈市夏井町、洋野町大野 各1戸